

## 2011年 学会発表(症例報告は除く)

番号	氏名	発表課題名	学会名(場所・年月)
1	片岡葉子	Evidence1にもとづく乳児アトピー性皮膚炎の理解と治療ー乳児アトピー性皮膚炎をみたとき、皮膚科医は何をすべきかー	第7回大阪皮膚アレルギーネットワーク(ODAN), 2011.1.29, 大阪
2	片岡葉子	アトピー性皮膚炎と不登校・ひきこもり	第1回日本皮膚科心身医学会, 2011.1.30, 大阪
3	片岡葉子	小児皮膚疾患診療のエッセンスーEvidence1にもとづく小児アトピー性皮膚炎の理解と治療ー	大阪小児科医会第156回学術集会, 2011.2.26, 大阪
4	片岡葉子	心身相関から読み解くアトピー性皮膚炎の心理的側面	第23回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2011.5.14-15, 千葉
5	田中謙好, 永瀬昌子, 大下真弓, 古川貴久子	チーム医療による重症アトピー性皮膚炎患者への集団教育の有効性の検討 QOLの視点からの検討	第23回日本アレルギー学会春季臨床大会, 2011.5.14-15, 千葉
6	Nanase Maeda,Eriko Yoshioka,Hiroko Kishida,Hiroshi Nishino,Yoko Kataoka	BENEFICIAL EFFECT OF NEW BIOMARKER, THYMUS AND ACTIVATION-REGULATED CHEMOKINE (TARC) FOR IMPROVEMENT OF SEVERE ADULT ATOPIC DERMATITIS	22nd World Congress of Dermatology, 2011.5.24-29 Seoul, Korea
7	Yoko Kataoka	Long-standing improvement of Severe Atopic Dermatitis by Data-Driven Educational Program	22nd World Congress of Dermatology, 2011.5.24-29 Seoul, Korea
8	片岡葉子	TARCの登場とアトピー性皮膚炎治療のブレイクスルー	第27回日本臨床皮膚科医会総会, 2011.6.11, 大阪
9	片岡葉子	もう迷わないで、アトピー性皮膚炎	大阪府済生会中津病院第4回公開シンポジウム, 2011.7.2, 大阪
10	前田七瀬、吉岡詠理子、岸田寛子、吉田直美、西野洋、片岡葉子	重症成人アトピー性皮膚炎患者における血清TARCの臨床的意義	第41回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会(最優秀論文賞受賞口演), 2011.7.16-17, 山梨
11	片岡葉子、西野洋、吉田直美、吉岡詠理子、前田七瀬、岸田寛子	個疹が24時間以上持続する蕁麻疹の臨床および病理組織学的検討	第41回日本皮膚アレルギー・接触皮膚炎学会, 2011.7.16-17, 山梨
12	片岡葉子	女性医師の現状と未来: 女性医師離職問題を考える	第75回日本皮膚科学会東部支部, 2011.9.17-18, 群馬
13	片岡葉子、西野洋、岸田寛子、吉岡詠理子	食物アレルギーは乳児アトピー性皮膚炎の原因ではなく結果である: 皮膚炎早期寛解維持による顕著な予防効果	第61回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2011.11.10-12, 東京
14	吉岡詠理子、前田七瀬、岸田寛子、西野洋、片岡葉子	乳児アトピー性皮膚炎患者の保護者に対する患者教育の有用性～保護者のQOL改善効果～	第61回日本アレルギー学会秋季学術大会, 2011.11.10-12, 東京